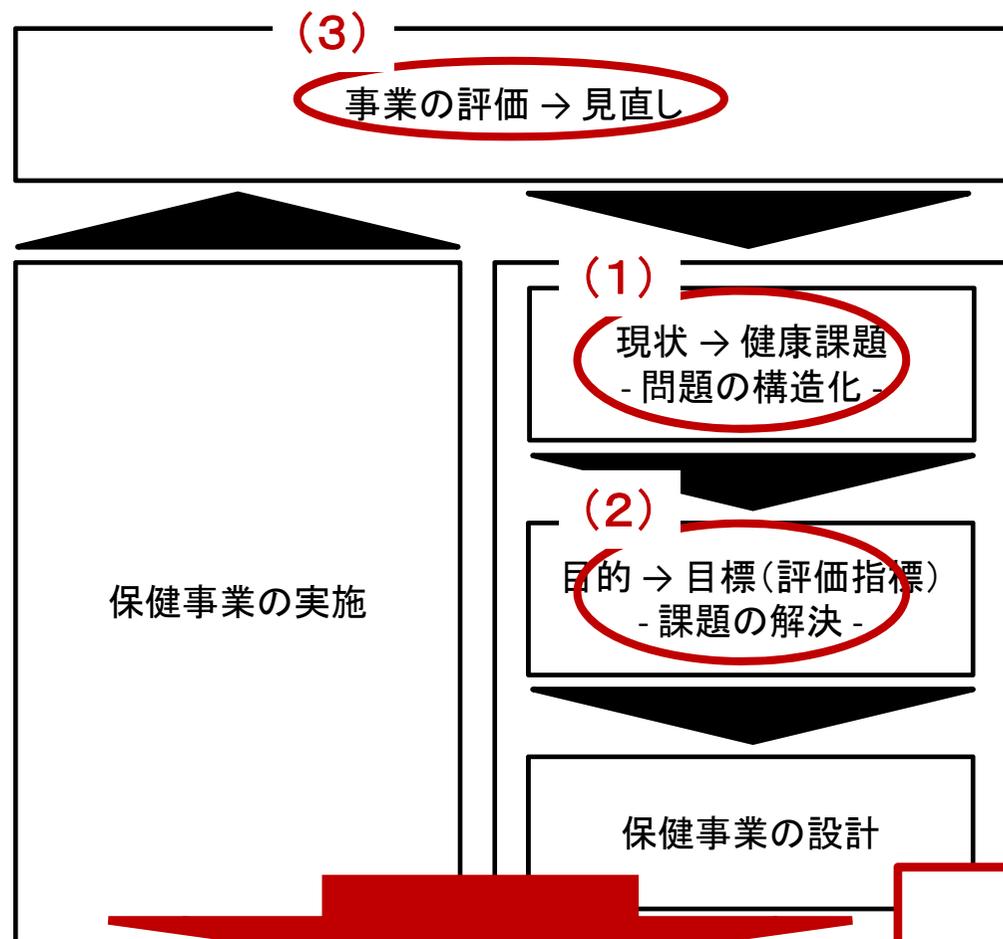


データヘルス計画のPDCAをまわす (=KPIの実現)



データヘルス計画のPDCAをまわす

- (1) 健康課題の構造
⇒ 対策を立てやすい構造化
- (2) 目的に沿った目標(評価指標)設定
⇒ 課題解決につながる目標設定
- (3) 事業の評価、効果的な見直し
⇒ 事業効果があがる目標設定、
事業設計に修正

事例の共有およびノウハウの蓄積

PDCAがまわることで初めて、
事例の共有による横展開が可能になる。

そのためにはPDCAをまわすナビゲーションが必要

健康課題(例)

高血糖者の割合が〇%と全国平均(△%)を大きく上回る。
(→事業目的はこの課題を解決すること)

上位目標(例)

要数値目標!

高血糖(有所見)者の割合を減少させる

下位目標(例)

	Outcome	Output	Process	Structure
服薬者のコントロール	コントロール50%	イエローカード [*] 100%	新規者AP	モニタリング
未服薬者の受診勧奨	治療率80%	勧奨通知100%	新規者AP	モニタリング
特保対象者には特定保健指導の適用!				
特定健診受診者への意識づけ	理解率70%	意識づけ100%	受診者AP	アンケート,ツール
特定健診の受診率アップ				
【40歳】受診率70%		勧奨通知100%	40歳AP	モニタリング
【40代】経年受診率80%		勧奨通知100%	昨年受診者AP	モニタリング

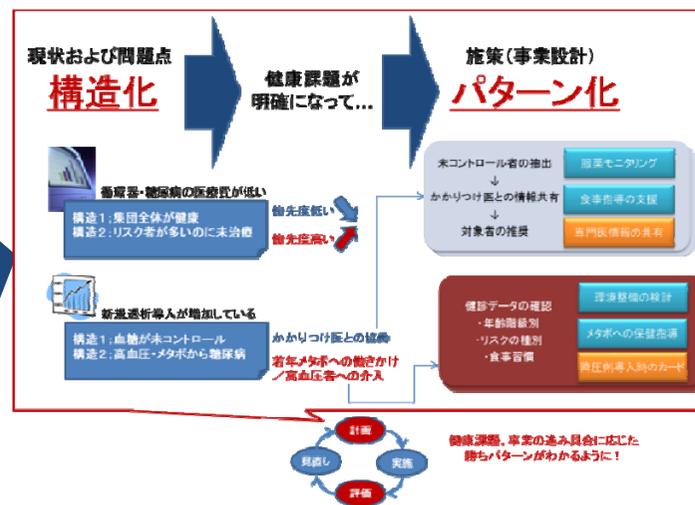
県・商工会との協働した健康経営の普及 / 健診データ起点のICT等ツール導入

「予防・健康づくりインセンティブ推進事業」 (ヘルスケアポータルサイト開設を含む)

1. 保険者のデータヘルス計画作成および実施・評価支援機能



データヘルス計画PDCAの “ナビゲーション”



データヘルス計画PDCAの “モニタリング”

自保険者のポジションの「見える化」
 と有用施策の「パターン化」

おわりに 保険者機能の最大限の活用

- 実効性をあげる“モニタリング”が不可欠

* 健康保険組合事業運営指針の改訂等、年間動線へビルトイン

- 母体企業の協働がポイント

* 企業トップは自健保組合のデータヘルスの進捗を毎年確認する

